

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2017年9月）議事録

日時：2017年9月15日（金）午後5時30分～7時00分

場所：松山大学 カルフル3F 会議室1

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登、西平賀昭、永富良一、碓井外幸、
小野寺昇、甲斐裕子、勝村俊仁、栗原 敏、
後藤勝正、坂本静男、下光輝一、須田和裕、
竹森 重、武政 徹、田中喜代次、田畑 泉、
成田和穂、西牟田守、浜岡隆文、
山内秀樹（各理事）、
井上 茂、小林康孝（各監事）、
三浦裕正（第72回大会長・愛媛）、
山次俊介（第73回大会長代理・福井）

欠席者：大野 誠、内藤久士、能勢 博、
宮地元彦（各理事）、
清田 寛、定本朋子（各監事）

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

前回の理事会議事録を理事会開催中に内容確認を行い、訂正等がある場合には申し出て頂くこととし、理事会終了後に承認することにした。

2. 平成29年度会計報告（決算）に関する件について（勝村財務委員長）

以下のとおり平成29年度決算についての報告がなされた。

収入の部 予算に比べて会費収入が約179万円、大会開催収入が約151万円、称号費収入が約34万円、研修会収入が約49万円、広告収入が約8万円増収した結果、年度内収入は別途積立金取り崩し収入を含めて93,024,337円であった。

支出の部 予算に比べて大会開催費が予算を約50万円上回るも、全体の支出としてはほぼ予算額通りで、年度内支出としては、83,252,061円であった。

以上により当年度収支としては9,772,276円の黒字となり、次年度繰越金は71,188,518円になったとの報告があった。本決算については公認会計士によるチェックが行われている事が併せて報告があり、引き続き井上監事より監査報告が行われ、平成29年度決算が承認された。

3. 平成30年度会計報告（予算）に関する件について（勝村財務委員長）

平成30年度予算案が提示され、下記の項目について説明が行われた。

- ・収入の正会員の会費を納入率90%で試算した。
- ・別途積立金預金の取り崩しを本年度は行わないこととした。
- ・各地方会の補助金を全て20万円にした。
- ・名簿作成費はオンライン名簿の維持費として計上した。
- ・役員登記関係費は理事の交代に伴い計上した。
- ・租税公課は、本年度より一般社団法人化に伴う消費

税が発生するので、公認会計士に試算して頂き、計上した。

また、それ以外の項目についてはほぼ前年度通り計上し、平成30年度の収支差額としては478,000円の黒字となる旨の報告がなされた（収入合計81,271,000円、支出合計80,793,000円の予定）。

4. 日本体力医学会健康科学アドバイザー新規申請者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の新規申請者1名の氏名リストが提示され、承認された。

5. 日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の継続申請者1名の氏名リストが提示され、承認された。

6. 日本体力医学会名誉健康科学アドバイザー称号贈呈者候補者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会名誉健康科学アドバイザーの称号贈呈者4名の氏名リストが提示され、承認された。

7. 理事長推薦理事について（鈴木理事長）

役員選挙で選ばれた理事以外の理事候補者について、須永美歌子評議員（日本体育大学児童スポーツ教育学部教授）を社員総会に推薦したいと提案があり、承認された。

8. 学会賞選考委員について（鈴木理事長）

来年度の学会賞の選考委員について、後述する「各種委員会の統廃合について」の中にて、説明する旨、報告があった。

9. 選挙制度の見直しについて（武政総務委員長）

総務委員会にて選挙制度について意見交換を行った結果が報告された。

- ・現在の役員選挙では、理事、理事長、副理事長、常務理事、評議員会長、監事を選挙にて選出するとなっており、理事長、副理事長、常務理事の選挙では、各選挙ごとに投票用紙を発送、回収し、開票作業の度に選挙管理委員を招集して開票を行っている。現状の方法では時間と費用が掛かるため、選挙の簡略化を図っていきたい。
- ・実施する選挙の日数、経費を減らす。例えば、理事長、副理事長、常務理事の選挙は、選出された新理事をすぐに招集し、同一の日に理事長、副理事長、常務理事の選挙を行えば、選挙日数及び経費を減らすことが出来る。
- ・また、現在の選挙に関する規程では、選挙結果で投票数が同数の場合についての扱いが記載されていないが、理事の経験年数、評議員の経験年数の優先順位を考慮して、当選者を決定できるようにしていきたい。
- ・現在、理事の任期は2年、評議員会長、監事の任期

は4年になっている。評議員会長、監事の任期も理事と同様に2年にして、任期の統一を図りたい。

重ねて鈴木理事長より、役員の任期は全て2年に統一し、役員選挙も役員ごとではなく、まとめて選挙を行っていく方法に変更して行きたい旨報告された。

なお、この件は定款の変更を伴うので、来年度の社員総会での審議に向けて、総務委員会で継続して審議を行う事が報告された。

10. 各種委員会の統廃合について（鈴木理事長）

体力医学会の委員会について、現在日本体力医学会には定款施行細則第5章に基づき常設委員会として、総務委員会、編集委員会、学術委員会（スポーツ医学研修会実行委員会、称号委員会、プロジェクト研究委員会）、財務委員会、評議員選考委員会、渉外委員会、倫理委員会、利益相反委員会が設置されている。その他に特別委員会として、プログラム委員会、将来構想検討委員会、広報委員会、男女共同参画推進委員会、ガイドライン検討委員会、学会賞選考委員会、選挙管理委員会、学術刊行物小委員会が設置されている。

特別委員会の数が多く、また、委員会によっては負担している業務量が多い委員会があるので、特別委員会を統廃合していき、簡略化を図っていく旨が、報告された。

審議の結果、特別委員会の統廃合をしていく事が承認された。

11. その他

1) 学会の会員種別について（碓井常務理事）

体力医学会の会員種別は現在一般会員、名誉会員、賛助会員である。会員制度の一部を変更し、シニアの方々に対して、シニア会員（仮称）というものを新規に設定したい。また、学生の方々に対して、学生会員（仮称）というものを新規に設定していきたい。

碓井常務理事から総務委員会にて図っていただくよう依頼した所、武政総務委員長より総務委員会からの回答として、シニア会員については、どのように定義をするのか、という事が話し合われ、年齢で分けていく事を検討してみてはどうかという意見が出た。学生会員については、他学会でも学生会員の会員種別があり、自然退会者の減少抑制に効果があるか否かを考慮しつつ、検討してみてはどうかという意見が出た。新規に会員種別を設けて参加してもらう事によって、学会の活性化と会員数の減少を図っていききたいと報告された。

井上監事より、学生会員の条件について、学生会員のまま就職して、正会員であるかを確認することはとても煩雑になっていくので、年齢制限を設ける、学生証のコピーを事務局に送るなどの対応を行ったほうが良い、との意見が出た。

会員種別の変更は定款の変更にも関わるので、来年度の社員総会での審議に向けて、総務委員会で継続して審議を行う事が報告された。

2) 体力医学会の和暦、西暦の表記について

（碓井常務理事）

資料によっては和暦と西暦のいずれかが記載され

た資料が提出されるが、片方だけだと年数を読み間違える場合がある。体力医学会の資料では、理事会で配布する資料等はできるだけ和暦と西暦を併用して表記し、和暦と西暦の読み間違いがないようにしていきたいと提案があり、承認された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 編集委員会（田中委員長）

資料「理事会申し送り事項」に記載されている通りであると、報告された。

2) 学術委員会（竹森委員長、山内スポーツ医学研修会実行委員長）

資料「理事会申し送り事項」に基づき、スポーツ医学研修会について、今後の課題と改善点について報告があった。

スポーツ医学研修会の知名度を上昇させるために告知をする、看護系の雑誌に告知の掲載をして頂く等の周知徹底と、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号の有効活用方法を検討していきたいとの報告があった。

3) 渉外委員会（永富委員長）

① ECSS Young Investigator Award 受賞者を招く国際セッションについて、どのような学術領域の若手研究者が受賞するか7月の中旬にならないとわからないため、受賞者が決まってから座長をお願いすることになり、演題間の関連がないという課題が生じている。こちらの招待を1年2ヵ月後に変更して、予めセッションに関わりのあるシンポジウムの講演を担当する先生に依頼し、シンポジウムをお願いするという意見が出たことが、報告された。

② 国際学術交流奨励賞について、初年度の応募者が22名、2年度に応募者が16名であり、予想を下回っていた。編集委員会副委員長から、表彰だけで奨励金はなくてもよいのではという意見を頂いたので、改めて検討していきたいと報告された。

③ プログラム委員会の中で、学会大会で開催するシンポジウム（案）の開催のための費用を集めなければいけないとの話があった。渉外ということであれば、プログラム委員会と協力してシンポジウム（案）の開催を行うべく、検討していきたい旨、報告された。

④ プレオリンピックコンgresについて、① IC-SEMIS 開催準備委員会が設立されている。日本学術会議において ICSSBE の開催について連絡を頂いた後、渉外委員会として応援していきたい旨、報告された。

4) 倫理委員会（成田委員長）

8月21日から学会ホームページにて「研究倫理審査」を公開したことが報告された。

5) 広報委員会（甲斐委員長）

資料「理事会申し送り事項」に記載されている通りであると、報告された。

2. 第73回（福井）大会の進捗状況

（山次第73回大会長代理）

配布資料に基づき、大会会場の変更等準備状況について報告された。

会 場：AOSSA, ハピリン

会 期：2018年9月7日(金)～9日(日)

テーマ：しあわせ元気なふくいであつむぐ体力医学
～QOL維持・向上の運動効果～

3. 第74回（茨城）大会の進捗状況（田中第74回大会長）

大会の準備状況等について報告された。

会 場：つくば国際会議場

会 期：2019年9月19日(木)～21日(土)

4. その他

- 1) 鈴木理事長より、下光理事（（公財）健康・体力づくり事業財団理事長）に、スポーツ医学研修会の知名度を向上させるため、健康・体力づくり事業団において、日本体力医学会スポーツ医学研修会開催案内の告知をお願いしたい旨、依頼された。これに対し下光理事から、健康・体力づくり事業団のHPにて研修会開催の告知は既に行っており、学会からの呼びかけと連携した告知を行っていきたいと回答された。
- 2) 下光理事より、健康・体力づくり事業財団より健康手帳を作成し、学会大会で無料配布することが報告された。それに伴い、健康手帳が理事に配布された。